

県下の交通事故 (8月25日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
59年	2,782件	63人	3,675人
60年	2,832件	71人	3,616人
比較	+1.8%	+12.7%	-1.6%



◇第69号◇

発行所

甲府市丸の内一丁目6-1  
財団法人山梨県交通安全協会  
TEL 甲府 (0552)37-7827



いねむり運転の果に

# 秋の全国交通安全運動

## 9月21日～9月30日

### シートベルト・ヘルメット 正しく着用、安全運転

秋の全国交通安全運動は、九月二十一日から三十日まで十日間、全国一斉に実施されます。本県では、①シートベルト・ヘルメットの正しい着用、②若年運転者の交通事故防止、③歩行者及び自転車利用者の交通事故防止、④飲酒運転の絶滅を重点として運動を進めることにしました。本県の交通事故死者は、本年上半期で前年に比して一・四％増加し、七月に入り異常に激増し、今後の多発が憂慮されます。この運動への県民の参加意識を高め、総ぐるみ運動により、事故発生に歯止めをかけることにしています。

### 思いやり ゆずりあい運転を

県交本部がきめた運動の重点項目と、おもな実施事項は次のとおりです。  
シートベルト・ヘルメット着用の徹底  
着用の実践を習慣づけ、事故の軽減を図るために、着用効果の広報と正しい着用方法の指導強化  
街頭指導所の開設による指導の徹底  
三 官公署、事業所等における着用推進  
四 各種講習、交通安全教育における啓発指導  
五 職域、地域ぐるみによる着用の推進

### 若年運転者の交通事故防止

若者の無謀運転等による事故を絶滅するために、一 若年運転者に対する交通安全教育指導の強化  
二 家庭、職域、地域で無謀運転をしない話し合いの推進  
三 地域ぐるみで無謀運転

### 追放気運の醸成

歩行者及び自転車利用者の交通事故防止  
安心して通行できる道路環境の整備や、とび出し、車の直前直後の横断などによる事故を防止するために、一 歩行者  
二 街頭における保護誘導活動の促進  
三 通学(園)路及び歩行者道路の安全確保  
四 学校周辺、住宅地、商店街の安全な交通環境の確保  
五 身体障害者等のための誘導用ブロック等点検整備と障害物の排除  
六 高齢者の安全な交通行動実践の促進  
七 自転車  
八 安全利用確保のための道路交通環境点検整備  
九 地域学校別に「自転車」の正しい乗り方教室

### の開催

四 自転車の反射器材等点検整備とTSマーク貼付の促進  
三 交通安全教育  
二 家庭における交通安全話し合いの実践  
一 子供と母親の交通安全教育の徹底  
二 高齢者の特性に応じた交通安全教育の徹底  
三 交通安全クラブ、交通少年団等の育成と組織化の促進

### 飲酒運転の絶滅

飲酒運転による事故を絶滅するために、一 飲酒運転絶対ない運動の徹底  
二 酒類提供業者の協力  
三 家庭、地域、職域で飲酒運転をしない、許さない運動の推進  
交通安全教育と広報等の推進  
正しい交通ルールとマナーを身につけるために

### 指導取締りの強化

交通マナーとモラルの向上を図るために、一 交通六悪の追放、保護誘導活動と若年運転者の指導、暴走族の監視と取締り、整備不良車及び無車検、無保険車両の取締り等の強化  
二 「思いやり」「ゆずり」「ゆずり合い」運転の励行  
三 ルール違反をなくすための声かけ、あいさつ運動の励行

### 安全のために

七月末における県内の死亡交通事故は六十三件で、死者は六十四人となり、昨年より十八人増えていました。このうち県内居住者が第一当事者になった事故は五十六件で、昨年の四十一件に比べ十五件も増加しています。人口十万人当たりの死者数で見ると全国の悪い方から二番目という実に憂慮すべき状態にあります。○どうして、こんなに死亡事故が増えたのか

一方、三十代以上の人が第一当事者になった事故は十九件で昨年より十三件も減少しているのです。このように、山梨県における死亡事故全体の増加の中味は、十代、二十代の若い運転者によるものが多いのです。○こんな事故が多いのか  
これら十代、二十代の者が起こした四十二件の内容を

スピード違反 十七件  
酒酔い運転 六件  
通行区分違反 六件  
などのように、全く初歩的な基本に反した無謀運転がほとんどです。○このような無謀運転の結果はどうなったか  
以上のようないくつかの十代、二十代の若者の無謀運転などにより十八人の尊い生命が失われています。

自動車 十四人  
自動二輪 九人  
原付 二人  
など二十五人亡くなっています。このほかの場合も含めると、今年になってから十代、二十代の死者は三十人となり、昨年より十三人も多く若い生命を失っています。

### 十代、二十代の運転者と その周囲の皆さんへ

県警察本部 塚田 岳夫  
交通部長



死亡事故を起した第一当事者の年代別をみると(カッコ内は昨年との比較)十代 十六件(五件増)二十代 二十四件(十七件増)二十五代 二十九件(九件増)計四十二件で全死亡事故の三分二を占めています。また、ご覧のように昨年に比較して異常な増加ぶりです。なお十代のなかには高校生六件(一件増)が含まれています。

○若い運転者に強く訴える十代、二十代の若い運転者の皆さん、一般道路では大型トラックや原付まで、また自転車や歩行者も一緒に利用しています。こうした道路はみんな利用するものですから、そのために必要なルールを定めています。これから運転者も車も増える一方です。一人ひとりルールを守ることに徹底しなければなりません。運転者の資格はありません。事故の原因のなかで一番多いスピードのことですが、例えば郊外の広い直線道路などでスピードを出すことがあってもいいかもしれません。しかし、カーブでは必ずスピードを落とさなければなりません。スピードを出したまま急ハンドルを切ることは、たいへん危険です。これまでの死亡事故でもカーブで十八件も発生しています。とくに、ゆるい左カーブで曲り切れずに向向車線へ出て転倒したり、対向車と衝突したりしています。この形勢は自覚して欲しいです。○周囲の皆さん

若者の周囲にいる家庭、学校、職場、地域の皆さん、若者の無謀運転による死亡事故をこれ以上増やしてはなりません。あらゆる機会に指導し、注意して健全な運転者に育てましょう。

十代、二十代の若い皆さん、車を運転することが、どのような危険があるのかもう一度考えなおし、いつも真剣な態度で運転し、ひとの生命と自分の生命を守って欲しいです。

一時停止の励行、歩行者とくにもや老人に注意することなど、どうか基本のルールを守って欲しい。そしてシートベルトとヘルメットの着用を励行すること、ヘルメットはあごひもで固定してください。

通行区分違反というのがあり、左側を走るべき車が右側の対向車線へ入って対向車に衝突しています。また、むりな追い越しをして対向車に衝突する場合もあります。カーブのようなところや、前の車の陰で対向車線の安全が確保されない車線に、むりな運転をして対向車線へ入ってしまつたことなどは、当然わかり切ったことです。衝突された相手は全く気の毒で、このような運転は絶対にしてはなりません。

このほか信号を守ること、一時停止の励行、歩行者とくにもや老人に注意することなど、どうか基本のルールを守って欲しい。そしてシートベルトとヘルメットの着用を励行すること、ヘルメットはあごひもで固定してください。

「少しかけだから」「酔っていないから」「気をつけて行けば大丈夫だ」「明日の通勤に困るから」こんな甘い考えがあると必ず飲酒運転事故に結びつく。酒酔いの事故が死亡事故や重大事故になることはご承知のとおりだし、事故にならなくても運転免許は一発取り消します。

「少しかけだから」「酔っていないから」「気をつけて行けば大丈夫だ」「明日の通勤に困るから」こんな甘い考えがあると必ず飲酒運転事故に結びつく。酒酔いの事故が死亡事故や重大事故になることはご承知のとおりだし、事故にならなくても運転免許は一発取り消します。

を再確認して欲しいのです。飲酒運転は大変悪質で、しかも危険なことはいまさらいうまでもないことですが、飲酒運転は明らかに故意犯です。「車を運転するのなら酒を飲まない」「酒を飲んだら車を運転しない」ことを明確に割りきるべきです。

# シートベルト着用

## 推進会議を設置

県交対協

山梨県交通対策推進協議会(知事・望月幸明会長)は、七月十五日、県建設業協会甲府支部会館において、昭和六十年定期総会を開催しました。その席で、「山梨県シートベルト着用推進会議」の設置を決定し、「シートベルト着用推進に関する決議」を採択しました。

総会では、交通功労者等を表彰して議事に入り、昭和五十九年度事業報告、収支決算報告、昭和六十年年度事業計画案、収支予算案を審議承認しました。

このあと、県内の交通安全の増加傾向と、道路交通法の一部改正により、シートベルト着用が義務づけ

られたことなどから、「山梨県シートベルト着用推進会議」の設置と「シートベルト着用推進に関する決議」について緊急動議が行われ、満場一致でこれを採択決定しました。

シートベルトの着用は、このころ着用率がやや向上しているものの、依然として低く、県民への普及が求められています。

さる八月一日から九月二十日まで全国的に着用推進運動が行われ、九月二十一日からの秋の交通安全運動に継続されますが、県内においても、この推進会議を軸として県民一丸となってこの運動に参加し、事故防



### シートベルトは九月から施行

#### 道交法一部改正

### シートベルト着用推進に関する決議

交通事故を未然に防止し、安全で住みよい生活を確保することは、県民すべての強い願いであります。況し、関係者の多大な努力にもかかわらず、近年増加の傾向にあり、多数の県民の尊い生命が奪われ、あるいは傷つけられ、その家族の平穏な生活が破壊されている現状は、誠に非難せざるを得ないものと認識を深めています。

このような状況の中において、シートベルトの着用は、運転者の交通安全意識を高め、尊い人命の死傷防止に有効かつ有効であるにもかかわらず、その着用率は極めて低い状況にあり、誠に遺憾とするところであります。このため、道路交通法の一部改正により、シートベルトの着用が義務づけられました。この改正の趣旨にのっとり、県民一丸となってシートベルト着用運動を強力に推進することをここに総意をもって決議します。

昭和六十年七月十五日

山梨県交通対策推進協議会  
山梨県シートベルト着用推進会議

### おんせん一家



### 道路交通法改正要点

60.7.5公布

項目	内 容	施行年月日	反則金、点数等
シートベルト着用義務等	① 運転者はやむを得ない場合を除き、座席ベルトを装着しない自動車運転してはならない。 ② 運転者はやむを得ない場合を除き、座席ベルトを装着しない者を運転者席の隣の乗車位置に車中させて自動車運転してはならない。 ③ 運転者は他の者を運転者席の隣の乗車位置以外の乗車位置に車中させて自動車運転するときは、その者に座席ベルトを装着させるように努めなければならない。	60.9.1施行	高速道路で装着しない場合 点数 1点
原付車の交差点における右折方法の特例	原付車は、道路標識等で指定された道路、又は、道路の左側に車両通行帯が設けられている道路の交通整理が行われている交差点において右折するときは、あらかじめその前からの限り道路の左側端に沿って進行しなければならない。	61.1.1施行	反則金 2千円 点数 1点
原付運転者の乗車用ヘルメットの着用義務	原付車の運転者は、乗車用ヘルメットをかぶらないで原付車を運転してはならない。	61.7.5施行	点数 1点
初心者の二人乗り禁止	自動車二輪の免許を受けた者でその受けていた期間が1年に達しない者は、運転者以外の者を乗車させて自動車二輪を運転してはならない。	60.9.1施行	反則金 (罰金) 4万円 3万円 1点
始音運転の禁止	正当な理由がないのに、他人に迷惑を及ぼすこととなる騒音を生じさせるような方法で、自動車又は原動機付自転車につき急発進、急加速、又は急減速をしてはならない。	60.9.1施行	点数 1点
初心運転者の受講義務	第1種運転免許を受けた者で、その受けていた期間が1年に達しない者のうち、累積点数が4点又は5点に達した者は、公安委員会の講習を受けなければならない。	61.1.1施行	
違法駐車車両に対する措置等	① 違法駐車車両を移動させた後、所有者等の氏名又は住所を知ることができないため公示した場合、公示の日から3月を経過しても車両を搬送できないときは一定の条件のもとに警察官又は車両を売却した者、また搬送することができるときは、その車両の所有者は、公示の日から6月を経過しても車両を搬送することができないときは、その車両の所有者は、都道府県に帰属する。	60.7.25施行	

### 実践活動を展開

#### 初の研修会で申し合わせ

安協婦人部役員

最近、車両台数や運転免許人口が急激に増加し、これに伴い交通事故も増加の傾向にあり、このような情勢に対処するために、道交法の一部改正が行われたのですが、シートベルトの着用義務は本年九月一日から施行となり、原付運転者も含めたヘルメット着用義務は、一年後の来年七月五日から施行されることになりました。

道交法の改正要点は別表のとおりです。

山梨県交通安全協会(中村太郎会長)では、七月十日、甲府市宝一丁目ニュー機山において、初の県内六地区安協の婦人部役員研修会を開催しました。

最近、女性の運転免許人口が急激に増加し、女性の

関係する交通事故も急増しています。また、増加する交通事故を防止するためには、何と云っても道路利用者すべての安全意識を高めることが大切ですが、その大きな役割を果たすのが家庭の安全管理者とも言える主婦であります。

今、交通安全母の会や女性ドライバーの皆さんがそれぞれ交通安全のために活動していますが、甲府、韮崎、長坂、市川、石和、塩山の各安協では婦人部を設置して一体となって活動しています。

この婦人部の積極的な、より適正な交通安全活動を進めるとともに、今後の方向を探索し婦人部の成長を図るために役員研修会を開

### 新規購入 映画の紹介

山梨県交通安全協会では、新しく次の映画を購入しました。無料でお貸しいたします。ご利用ください。

#### 一 死から生への証言

シートベルトは、命綱。16ミリ、カラー、30分。運転者、一般向。シートベルト着用は、交通事故死者防止の最も簡便で効果的な切り札といえます。

この映画は、重大事故にあいながら、シートベルト

#### 二 自転車の安全

16ミリ、カラー、21分。小学校中・高学年向。自転車利用者や歩行者の交通事故が毎年おとちとせ。また、大事に至らないまでも思わず冷汗をかいた経験をもった人は少なくありません。

この映画は、自転車利用中のこれらの体験をもとに子どもたちが話し合いを行

#### 三 幼児・低学年向

16ミリ、カラー、15分。依然として多い幼児の交通事故。これらの事故を未然に防ぐためには、まず幼児に交通安全教育を正しく身につけさせることが大切です。

この映画は、幼児の心と出し事故を防ぐために、人気者ドラえもんと一緒に楽しみながら、交通ルールを身につけさせようとするものです。

#### 四 危険なゲーム

危険なゲームをあけて、交通ルールの大切さを再確認するものです。

三、「アニメーション」交通安全たよドラえもん」とび出しはやめよう。16ミリ、カラー、15分。

#### 五 交通安全の大切さを再確認

交通安全の大切さを再確認するものです。

三、「アニメーション」交通安全たよドラえもん」とび出しはやめよう。16ミリ、カラー、15分。

交通安全の大切さを再確認するものです。

三、「アニメーション」交通安全たよドラえもん」とび出しはやめよう。16ミリ、カラー、15分。



研修する安協婦人部役員

### 10月14日に開催

#### 第27回山梨県中学生交通安全大会

県交通安全協会、NHK甲府放送局、交通山梨新聞社主催の「第27回山梨県中学生交通安全大会」は、十月十四日(月)午前十時から、甲府市飯田三丁目NHK甲府放送局第一スタジオで開催されます。

この大会は、交通安全思想を高め、交通事故を防止するために開催されますが、この大会には、秋の全国交通安全運動等の機会に、各警察署単位で開催された地区予選大会で選ばれた選手が出場して弁論を競います。地区大会への積極的な参加をお願いします。

い、危険なゲームをあけて、交通ルールの大切さを再確認するものです。

三、「アニメーション」交通安全たよドラえもん」とび出しはやめよう。16ミリ、カラー、15分。

### 交差点

昭和二十年八月十五日、敗戦の詔勅を涙ながらに謹聴して早くも四十年が過ぎました。連日のほげしい空襲に続く原爆投下、そしてこの聖断による終戦。言語に絶する悲惨なあの頃を懐び、戦争を再び起こしてはならないと、身をもって体験したものです。

あれから四十年、長くもありません。思えば、激動の国土は焦土と化し、激動の中で果たして再起できるか、不安を抱きながらもそれぞれの立場で再建に立ち上がり、かつての時代を想像することもできない程の復興が続き、政治、経済、文化を始め有数の大国と云われるほどに成長することができました。

それに伴い、当時では考えもつかない大量交通。国民皆免許の時代を迎えています。交通環境はけいれん。交通環境のけいれん。変革と相まって交通死亡事故の激増は痛ましい限りです。これはいつの半減に近いとは言っても、この数年全国的には年間九千人余の尊い人命が失われ、県内でも百人余の方が交通の犠牲となつています。今年も再び増加の傾向を示しており、何とかならないものと、胸がゆくさと思えます。

厳しい交通情勢に対応し、七月五日、道路交通法の一部改正が公布されました。改正要点の一つは、シートベルト着用義務化です。国や県ではシートベルト着用推進会議を設置し、これを中核として運動を推進し、当面、八月一日から九月二十日、さらに秋の全国交通安全運動にかけて着用推進運動を展開しています。シートベルト着用による交通事故発生時の被害軽減と安全意識を高める効果の周知徹底を図り、法律規制以前のこととして、自発的に県民一丸となって着用の実践に努め、日常茶飯事として定着することを期待するものです。

本年上半年期の交通事故

交通死者ふたたび増加 10万人当たりワースト4位

本年上半年期の交通事故は、全国的には前年に比して、発生件数、死者、傷者とも増加しています。...

死者数は、全国平均三・五〇人に対し本県は五・九八人と高く、全国ワースト四位であり、危険な交通環境にあるといわなければならぬ。...



優勝旗を贈られる七保小チーム

七保小が初優勝 原小女子チームが四位

交通安全ことも自転車県大会

県警察本部と県交通安全協会主催の第十六回交通安全大会は、全県とも自転車県大会は、県交対協、県教委、県交母連の後援を受けて、六月十六日、竜王町立北小学校で開催されました。...



二輪車県大会で車幅感覚走行にいとむ

53人が技を競う 二輪車安全運転県大会

県交通安全協会、県二輪車安全運転推進委員会主催の第十五回二輪車安全運転山梨県大会は、六月二十三日、...

四倍に増加しました。六、二十歳の死者が増加する傾向は、二十歳代が十五人（前年比十人、二〇〇％増）で大幅に増え、...

意識を高める好機として関係者の関心が高まり、選手の数も進歩向上のあがうかがえたと見られます。...

挑戦する技能走行に技を競い、多数の応援の中で、参加選手は競技に真剣に取り組み、平素の勉強と練習の成果をひろうしました。...

- 優勝 七保小学校
準優勝 高根東小学校A
四位 原小学校
五位 高根東小学校B
六位 吉田小学校
七位 白根源小学校
八位 湯田小学校
九位 石和南小学校
十位 吉田西小学校

保有率、全国第四位 山梨の運転免許保有状況

運転免許人口が年々増加している中で、県内の運転免許人口が本年二月に四〇万人を突破したが、その後も増え続け六月末現在では四〇万四千八百八十四人となり、保有率四九・一六％、県民二・〇三人に一人が保有しており、この保有率は、群馬（五〇・一）、長野（四九・四）、栃木（四九・二）に次いで全国第四位の保有率となつています。...

Table with columns: 人口等, 総人口, 免許人口, 保有率, 総人口に対する保有割合. Rows for 本県 and 全国.

Table with columns: 人口等, 総人口, 免許人口, 保有率, 総人口に対する保有割合. Rows for 本県 and 全国.

昭和四十九年末における六〇歳以上の免許人口は、一万三九四一〇人で全免許人口の四・九％であったが、昭和五十九年末には三万三二八八となり、一万九七二八人の二・五倍も増加し免許人口の八・三％をも占めています。...

安全教育推進委員会 交通安全協会、県自転車安全推進委員会、七月二十六日、ニュー機山で委員、幹事合同会議を開きました。...

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険を任意の自動車保険をつけましょう。損害保険代理店 株式会社たいよう共済山梨支店

地区だより



カーブミラーを清掃する（上野原）

交通標識を一斉点検（上野原）

上野原警察署と上野原安協は上野原町役場と協力し七月六日、町内の交通標識等の一斉点検を行いました。この点検には、警察官、安協役員等五十人余が参加し、

子ども交通防犯安全リーダーを委嘱（重崎）

重崎警察署と重崎安協は、七月六日、管内十九の小・中学校の推せんを経て、夏休み中の「子ども交通防犯安全リーダー」小学生四〇五人、中学生一五三人を委嘱しました。



須玉中で安全リーダーを委嘱（重崎）

県民総講習講師講習会開く（南甲府）

南甲府署では、安協と協力し交通事故防止のための県民総講習にそなえ、七月二十四日署会議室で講師講習会を開き、適任者二十五名に対し講習実施要領等の具体的な指導教育を行いました。



県民総講習の講習要領を勉強する（南甲府）

過信の末に 会社員 27歳

あがな 贖いの日々

私は、某自動車ディーラーに勤務する営業マンでした。私にとって車は、商売道具でもあり、手足でもありました。

私が事故を起こしたのは、昨年の四月十六日、午後八時三十分ごろのことでした。雨上がりの街灯もない、暗い直線道路を、乗用車を運転していました。私は、前方を同一方向に進行して

いた軽自動車を追い越しました。それまでは、時速三〇〜四〇キロのスピードで、一〇数秒くらい追従してきたのですが、道路が直線になったのと、お客の所に集金に行く時間も迫ったこともあり、時速五〇キロも出して追い越しました。そして、元の車線に戻った途端に、自転車に乗った老人を、跳ねてしまったのです。

そのとき急ブレーキを踏んだと同時に、フロントガラスがコナゴナになり、一瞬視界がなくなり、私にはなにごどうだったのか判りませんでした。車は、数十メートル止まりました。車は、数十メートル止まりました。車は、数十メートル止まりました。

んだ。自分は運転がうまいんだ。絶対事故など起こすはずがない。車に自分はプロなんだという過信がありました。こんな考えを持っていたのは、私だけでなく、自動車業界に従事している者いや今日では一般ユーザーであっても、これに近い考えを持っている方が、少なくないと思います。今考えれば恐ろしい限りです。私はこの危険な考えのまま車を運転し、取り返しのつかない事故を起こしてしまいました。

私が事故を起こしたのは、昨年の四月十六日、午後八時三十分ごろのことでした。雨上がりの街灯もない、暗い直線道路を、乗用車を運転していました。私は、前方を同一方向に進行して

くください」と、胸の内、何度も、何度も叫んでいたことは、いまだに忘れられません。しかし、被害者の老人はこの日からもつゞく二年になろうとしています。まだまだ意識は戻りませんが、世間一般にいう「植物人間」となっていました。当初、病院にも、少しでも良くなる方向にならないかと、淡い期待を持ちながら、六カ月ぐらひは、毎日か一日置きに、見舞いに行きました。しかし容体は、少しも良くなり、医師の話では、悪くなる一方のことです。「年も年なので現状の状態を保っていくのが精一杯」とのことでした。今も被害者は、このときのケガと闘っているのです。また、被害者も家族も、看病などに心に痛みを負いながら生活しているわけです。そして私も、この日から、償いと反省の日々を送ることになりました。現在私は裁判で有罪判決を現行犯として受けています。私はここで生活して、今まで自分のしてきた生活を等振り返り、なんてい加減な、家族や他人を返り見ぬ自分勝手な生活をしてきたのだらうと思ってきました。だからこそ今更、そして自分の家族にも多大な迷惑を掛けているのだと思えます。私は、二度と人に迷惑をかける人間に成長するよう努めてゆきたいと思えます。また、この「贖いの日々」の読者の皆さんも、「自分だけは」などという考え捨て、少しでも自分を見直すきっかけとなれば幸いです。（青いシグナルより）

安全運転管理者等講習が始まります

安全運転管理者・副安全運転管理者の本年度講習が次のとおり行われますのでお知らせします。（昭和60年）

Table with 10 columns: 講習区分(学科), 対象者, 月日(曜日), 場所, 予定人員, 講習区分(学科), 対象者, 月日(曜日), 場所, 予定人員, 備考. It lists training details for various categories like newly appointed managers, public office managers, etc.

全日本交通安全協会では次の要領により、昭和六十一年使用の交通安全年間スローガンとポスターデザインを募集します。
【スローガン（標語）募集】
昭和六十年八月十日（土）から秋の全国交通安全運動最終日の九月三十日（月）まで（当日消印有効）
【募集部門】
◎一般からの募集
○運転者（同乗者を含む）に對するもの
○歩行者・自転車乗用者に對するもの
○家庭の中から交通安全への注意を促すもの
○交通安全を横断の仕方防止
○自転車安全な乗り方
○ことばからの募集
○ことば自身に呼びかけるもの

（応募方法）
◎一般：年齢制限はない。普通はがきにより、一部門一スローガン、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記。自作、未発表のものに限る。
◎スローガン（標語）募集
昭和六十年八月十日（土）から秋の全国交通安全運動最終日の九月三十日（月）まで（当日消印有効）
【募集部門】
◎一般からの募集
○運転者（同乗者を含む）に對するもの
○歩行者・自転車乗用者に對するもの
○家庭の中から交通安全への注意を促すもの
○交通安全を横断の仕方防止
○自転車安全な乗り方
○ことばからの募集
○ことば自身に呼びかけるもの

（発表）
昭和六十年十二月一日の毎日新聞紙上およびNHKテレビ、ラジオによる。（表彰式）
昭和六十一年一月下旬、第二十六回交通安全国民運動中央大会の席上。
◎一般：最優秀スローガン二点に内閣総理大臣賞状と賞金各十万円。
◎スローガン（標語）募集
昭和六十年八月十日（土）から秋の全国交通安全運動最終日の九月三十日（月）まで（当日消印有効）
【募集部門】
◎一般からの募集
○運転者（同乗者を含む）に對するもの
○歩行者・自転車乗用者に對するもの
○家庭の中から交通安全への注意を促すもの
○交通安全を横断の仕方防止
○自転車安全な乗り方
○ことばからの募集
○ことば自身に呼びかけるもの

交通安全年間スローガン

ポスターデザイン募集

賞金各十万円。
◎一般：最優秀スローガン二点に内閣総理大臣賞状と賞金各十万円。
◎スローガン（標語）募集
昭和六十年八月十日（土）から秋の全国交通安全運動最終日の九月三十日（月）まで（当日消印有効）
【募集部門】
◎一般からの募集
○運転者（同乗者を含む）に對するもの
○歩行者・自転車乗用者に對するもの
○家庭の中から交通安全への注意を促すもの
○交通安全を横断の仕方防止
○自転車安全な乗り方
○ことばからの募集
○ことば自身に呼びかけるもの

賞金各十万円。
◎一般：最優秀スローガン二点に内閣総理大臣賞状と賞金各十万円。
◎スローガン（標語）募集
昭和六十年八月十日（土）から秋の全国交通安全運動最終日の九月三十日（月）まで（当日消印有効）
【募集部門】
◎一般からの募集
○運転者（同乗者を含む）に對するもの
○歩行者・自転車乗用者に對するもの
○家庭の中から交通安全への注意を促すもの
○交通安全を横断の仕方防止
○自転車安全な乗り方
○ことばからの募集
○ことば自身に呼びかけるもの

賞金各十万円。
◎一般：最優秀スローガン二点に内閣総理大臣賞状と賞金各十万円。
◎スローガン（標語）募集
昭和六十年八月十日（土）から秋の全国交通安全運動最終日の九月三十日（月）まで（当日消印有効）
【募集部門】
◎一般からの募集
○運転者（同乗者を含む）に對するもの
○歩行者・自転車乗用者に對するもの
○家庭の中から交通安全への注意を促すもの
○交通安全を横断の仕方防止
○自転車安全な乗り方
○ことばからの募集
○ことば自身に呼びかけるもの

賞金各十万円。
◎一般：最優秀スローガン二点に内閣総理大臣賞状と賞金各十万円。
◎スローガン（標語）募集
昭和六十年八月十日（土）から秋の全国交通安全運動最終日の九月三十日（月）まで（当日消印有効）
【募集部門】
◎一般からの募集
○運転者（同乗者を含む）に對するもの
○歩行者・自転車乗用者に對するもの
○家庭の中から交通安全への注意を促すもの
○交通安全を横断の仕方防止
○自転車安全な乗り方
○ことばからの募集
○ことば自身に呼びかけるもの

山梨自動車学校
○県下一の広いコースで 早い上達を！
○伝統ある当校で 1日も早く免許証をあなたの手に
山梨県交通安全協会経営
公認 山梨自動車学校
八田村野牛島1828 山梨県運転免許センター内
TEL. 05528-5-0752